
庄内・湯野浜温泉 亀や 40㎡の小宇宙プロジェクト 旅館客室の未来を拓げるリニューアルプロジェクトに東北芸術工科大学が参画

東北芸術工科大学（山形市／学長 中山ダイスケ）は、庄内の老舗旅館・湯野浜温泉 亀や（山形県鶴岡市／代表取締役社長 阿部公德）の8階客室リニューアルプロジェクトに参画しました。本学教員・卒業生が客室のデザイン・設計など多面的にこのプロジェクトに関わりました。

■建築・環境デザイン学科 馬場正尊教授によるコメント

温泉旅館の客室の標準的な広さは、およそ40㎡といわれています。団体旅行がメインだった時代、客室には小さな水回りと畳の間がありそこに布団を並べて宿泊するというスタイルでした。どの街を訪れてもその標準的な宿泊スタイルが一般的で、それが均質性の時代の客室の姿だったともいえます。時代は変わり、旅行・宿泊のスタイルは個人化・多様化が進み、均質な客室は徐々に時代遅れとなっていきました。団体旅行客をメインとする大型旅館であればあるほどこの変化の波に乗れず苦勞していると聞きます。そこにさらに追い打ちをかけたのが新型コロナウイルス禍でした。

そういった状況下において、旅館客室に革命を起こすべく始動したのがこのプロジェクトです。旅館内の客室すべてをクローズすることなく、部屋ごと／フロアごとで再生・リノベーションをおこない、新しい旅館客室の可能性を拡張しています。旅館の客室の未来にどれだけの可能性が広がっているのか？ わずか40㎡の部屋の中にどれだけの小宇宙を展開することができるのか？ 湯野浜温泉 亀や旅館と建築家たちとのコラボレーションが行われました。

東北芸術工科大学も、多面的にこのプロジェクトに参画しています。

ひとつの客室を、ひとり（もしくは1グループ）の建築家／大学研究室がデザイン・設計を担当。間取りもデザインも全く違う部屋が並ぶことになりました。それはまるで、旅館全体が建築家たちの作品が並ぶ美術館のようです。わずか40㎡の小さな空間の中に、多彩な間取りや素材、お風呂や風景の楽しみ方など、そのバリエーションの豊かさには改めて驚かされます。このプロジェクトは、今後の旅館の再生、リノベーションのあり方について大きなインパクトを与えることになるはずです。

■プロジェクト概要

山形県鶴岡市・湯野浜温泉 亀や8階の全6客室をフルリニューアル。第一線で活躍する建築家たちが思い思いの客室を設計し、2022年4月下旬にオープンしました。なお8階フロア廊下には、各客室のコンセプトを表現した作品やオブジェなども設置されています。

○ひかり (814)



建築家・根岸正典氏と庄内の酒蔵、楯の川酒造が光をテーマに客室をデザイン。日本酒の原点である、光（ひかり）を感じる空間。

コンセプト：根岸正典、楯野川酒造

設計：根岸正典（根岸正典・計画工房）

○あかり (815)

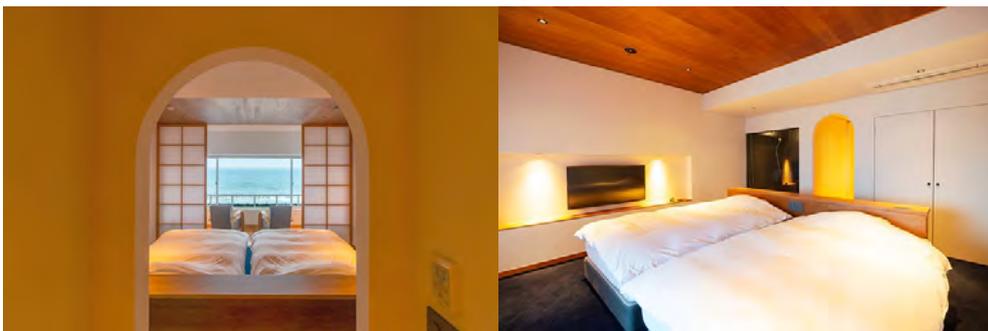


建築家・根岸正典氏と庄内の酒蔵、楯の川酒造が光をテーマに客室をデザイン。日本酒の原点である、明（あかり）を感じる空間。

コンセプト：根岸正典、楯野川酒造

設計：根岸正典（根岸正典・計画工房）

○おく (816)



建築家・佐藤あさみ氏が日本の伝統美、奥行きをテーマに客室をデザイン。日本旅館の構成を守りつつ、現代的なデザインの手法を取り入れた空間ができました。

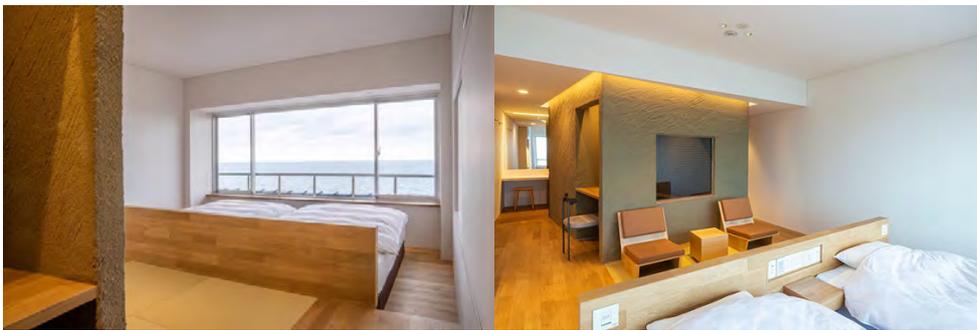
設計：佐藤あさみ（Littile Design）



早稲田大学・吉村靖孝研究室によるデザイン。大鏡によって窓の外に広がる日本海と空間が一体化。部屋全体が海景と呼応し湯野浜の風景に満たされます。

設計：早稲田大学・吉村靖孝研究室

○さがん (818)



東北芸術工科大学・馬場正尊研究室／佐藤充研究室デザインの客室。湯野浜の風景をそのままに表現したお部屋から夕日を眺めるひとときを体験できます。

設計：東北芸術工科大学・馬場正尊研究室／佐藤充研究室

○あかがね (819)



建築家・加藤詞史氏が庄内社寺をテーマに客室をデザイン。部屋の窓辺には墓（がま）が傷を癒したという、湯野浜伝説の浜の湯壺をイメージしたバスタブを設置。

設計：加藤詞史（加藤建築設計事務所）

【本学関係者】

- ・馬場正尊 本学 建築・環境デザイン学科教授（客室 さがん デザイン・設計）
- ・佐藤充 本学 建築・環境デザイン学科准教授（客室 さがん デザイン・設計）
- ・佐藤あさみ 本学 環境デザイン学科卒業生（客室 おく、8階フロア廊下 デザイン・設計）
- ・深井聡一郎 本学 美術科工芸コース教授（フロア廊下 作品設置）
- ・アイハラケンジ 本学 グラフィックデザイン学科准教授（フロア サイン計画）
- ・土澤潮 本学 グラフィックデザイン学科非常勤講師（フロア サイン計画）

■8階客室リニューアルにあわせて宿泊プランも改訂

このプロジェクトの実施にともない、既存客室を含む亀やの全宿泊プランも改訂。多様な客室ラインナップを3タイプの食事プランに集約させることで、ユーザーが選びやすいプラン提供を目指しました。このプラン改訂のコーディネート/ディレクションに本学教員も関わっています。

【本学関係者】

・アイハラケンジ 本学 グラフィックデザイン学科准教授（宿泊プラン コーディネート・ディレクション）

■既存客室に設置の展示物もリニューアル

また、既存客室（和室）に設置されている展示物のリニューアルについても本学教員・卒業生が参画。客室に設置された作品が四半期ごとに切り替わるアートサブスクリプションをプランニングし、本学卒業生の作品が3年かけて計12作品設置されていきます。

【本学関係者】

- ・深井聡一郎 本学 美術科工芸コース教授（展示プランニング・ディレクション）
- ・アイハラケンジ 本学 グラフィックデザイン学科准教授（展示プランニング・ディレクション）
- ・草薨裕 本学 美術科洋画コース卒業生（作品展示）

■湯野浜温泉 亀や

所在地：〒997-1201 山形県鶴岡市湯野浜 1-5-50

アクセス：庄内空港からタクシーで約10分

TEL：0235-75-2301

URL：<https://www.kameya-net.com/>

【本件に関するお問い合わせ】

東北芸術工科大学 入試広報課

〒990-9530 山形県山形市上桜田 3-4-5

TEL：023-627-2246

E-mail：public@aga.tuad.ac.jp